

地域の子供たちと地元事業所を結ぶ 「こども『仕事共育』協力事業所」募集中!

学校が設営する職場体験、インターンシップなどの実施にあたり、その協力事業所を登録により募り、リスト化して、学校及び教育委員会と情報を共有し、子供たちと事業所を繋ぐ取り組みを始めました。子供たちの仕事に対する考え方などを地域事業所も共に育んでいこうという事業です。

登録には、登録申込書(伊豆下田法人会HPにあります)に必要事項を記入して頂き、FAX又はメールにて返信して頂く必要があります。お申込み頂いた事業所様には、次のステッカーを送らせて頂きます。(法人会員以外の事業所様も対象です。個人事業主様も含んでおります)

当事業所は、
子供たちと共に仕事や働く事の意義を考え、
郷土愛を育むことに繋がる事業に協力します。



こども「仕事共育」協力事業所

(一社)伊豆下田法人会

ご登録いただいた事業所様に
配布させて頂いている
ステッカーです。



子供たちの為の事業であると同時に
事業所にとっても貴重な機会になることと確信します。

さあ、今こそ!



一歩踏み出す
法人会。



「伊豆だより掲示板」

～法人会事務局長の
ひとりごと～



フォロワー1,700人突破!

伊豆からの情報を中心に発信しています。
是非、情報もお寄せ下さい。

～法人会事務局長のひとりごと～

伊豆だより掲示板



今年5月、新型コロナウイルスの感染症の分類が、2類から季節性インフルエンザ並の5類へと移行され、3年半の間、私たちが苦しめてきたコロナ禍も一区切りし、少しずつではありますが、観光地としての賑わいを取り戻しつつあります。

しかしながら、ロシアのウクライナ侵攻に始まった物不足、物価高騰、円安は一般消費者だけでなく、経営基盤にも大きく影響を及ぼしており、業界問わず、人手不足問題も深刻さを増してきております。拍車がかかる人口減少の状況下において、地方のあり方を考え、未来を繋ぐためにどうすればいいのか…それを創立70周年の年に当たる今、考え、出した結論が、「繋ぐ」というテーマのもと、移住者の方々や地元の子供たちと事業経営者を結ぼうという事でした。

地域と移住者交流の機会を作り、移住しやすい環境を作る事、地元の子供たちに、地域事業者との接点を作り、郷土愛に繋がる思いを共に育むこと…いずれも人口減少に抗う取り組みです。

今回、移住者の方などを中心に6組の方々をご紹介させて頂きました。Uターンされた息子さんが家業を継ぎ、新たな挑戦をされている親子、カフェ経営、コーヒー店経営をされているご夫婦、第二の人生のスタートを単身で歩まれている女性オーナー、町の活性化のためにイベントを開催された地域おこし協力隊の方…様々な人生の歩みの中で、皆さん、伊豆での活動を続けられているわけですが、どなたに聞いても共通したのは「地元の方々に愛されたい」「地元の方々にとっての居場所になりたい」など、地元への思いでした。「伊豆の未来を繋ぐ」のテーマに相応しい内容になったことと自負しております。地元側からも是非、お声掛け願います。

(広報)

編集後記